



# 鳥取県立船上山少年自然の家 主催事業

## 令和2年度「ウインターフェスティバル①・②」実施報告書

### I 事業の概要

1 期 日 令和2年2月6日（土）・7日（日）※ 日帰り実施

#### 2 日 程

ウインターフェスティバル①・②とも同日程	
9:30	受付
10:00	出会いのつどい
10:20	ボッチャ
11:30	昼食
12:15	雪あそびの説明
12:30	香取へ向けて出発
13:10	スノーシュー体験 チューブそり遊び 雪遊びなど
15:00	各家族で感想記入後、解散

#### 3 趣 旨

- ・スノーシュー・そりなど、楽しい雪遊び活動を体験することで冬の自然に親しむ。
- ・活動をとおして、親子の絆を深める。

4 対 象 小学生とその家族（募集定員：各10家族）

5 応募者数 ①8家族28人

②5家族18人

6 当日参加者数 ①8家族28人

②4家族15人（1家族キャンセル）

7 参加費 1人 900円

8 ボランティア 一般の方1名（7日のみ）



## II 実施状況

### ■ ウインターフェスティバル①（1日目） 〈2月6日（土） 天候 晴れ〉

今年度は船上山周辺に雪がなく、午前中は館内での活動、午後から香取に会場を移して雪遊び等の活動を行った。

午前中は8家族をA・Bグループの2つに分け、カローリングとボッチャをそれぞれ体験していただいた。

昼食は感染症対策として、1人1人のバットに食事を提供するスタイルをとった。配膳する時間が省け、昼からの活動準備に時間をあてることができた。

昼食後はもう一度レクホールに集まっていただき、そのの乗り方や注意点を確認した。いよいよ指導員の車を先頭に、各家庭の自家用車で香取会場に向かった。

香取会場でもA・Bグループに分け、スノーシューと雪遊びグループ、そり遊びグループに分けて活動した。

この日は天候も良く気温もぐんぐん高くなり、汗ばむ陽気であった。そんな中で、親子で一緒になってスリル満点のチューブそりを楽しんでおられた。子ども達が嬉しそうに何度も何度もそりを運び、繰り返し滑る姿が見られた。また、スノーシューの活動では、散策中に小動物の足跡がいくつか見られ、親子で「何の動物の足跡かな？」と会話が弾んでいて、微笑ましく思った。

15時になると活動を終了した。所長あいさつの後、感想を記入していただき、現地解散となった。



### ■ ウインターフェスティバル②（2日目） 〈2月7日（日） 天候 曇り時々雪〉

2日目も初日と同日程で行った。

参加家族が4組であったため、午前中は全家族総当たりの対抗戦でボッチャを行った。どの家族も十分にボッチャを楽しんでいただけたのではないかと思います。

初日と同様に昼食は1人ずつバットで配膳し、家庭ごとに昼食を召し上がっていただいた。

午後からは香取会場へと向かった。

この日は午前中と同様に参加者を分けずに全員で同じ日程を行った。初めにスノーシュー体験、その後そり遊びの活動を行った。また、そり遊びと同時進行でそれぞれの家族ごとに雪遊びも行った。かまくらを作る家族や大きな穴を作る家族など、思い思いのものを作成していただいた。最後は簡単なあいさつをして、現地解散となった。

どの家族も満足した表情で会場を後にされていた。



## 《参加者の満足度》

【ウインターフェスティバル①】…参加者8家族（家族ごとにアンケート 回収率75%）  
事業全体の満足度は6家族中5家族が「満足」、1家族が「やや満足」であった。

【ウインターフェスティバル②】…参加者4家族（家族ごとにアンケート 回収率50%）  
事業全体の満足度は2家族中2家族が「満足」であった。

## 《参加者の感想》（抜粋）

- ・ 船上山に雪がなかったのが心配でしたが天気も良く気持ちよく遊ばせていただきました。また、船上山に雪が積もったら遊びに来たいです。
- ・ そり遊びがとても楽しかったです。また、いろいろな行事に家族で参加したいと思っています。
- ・ スノーシューの小さいサイズがあって、末っ子と母は初めて体験することができ、楽しかったです。可能であれば今度はもっと遠くまで行ってみたいです。

## 2 成 果

- ・ 様々な天候や雪のあるなしを想定してあらかじめ多様なパターンを計画しておいたので、万全の状態当日を迎えることができた。また、指導係内で事前に確認会を持てたのも良かった。
- ・ 食事をバットで1人ずつ提供できたことは、コロナ対策の面からも非常に良かった。
- ・ 今回はアンケート記入に初めてQRコードを活用してみた。時代に合わせた試みであるので、今後も改善点を洗い出し、参加者にとって更に使いやすいものにしていきたい。

## 3 課 題

- ・ 1日目の課題を指導係全体で確認し、2日目に修正できたのはよかった。ただ、「密を避ける」という観点でどの活動も事前にもう少し確認しておく必要があった。
- ・ QRコードによる感想記入を行う場合は、紙の感想用紙と比べて提出率が低かったため、今後はしっかりと記入時間を確保したい。